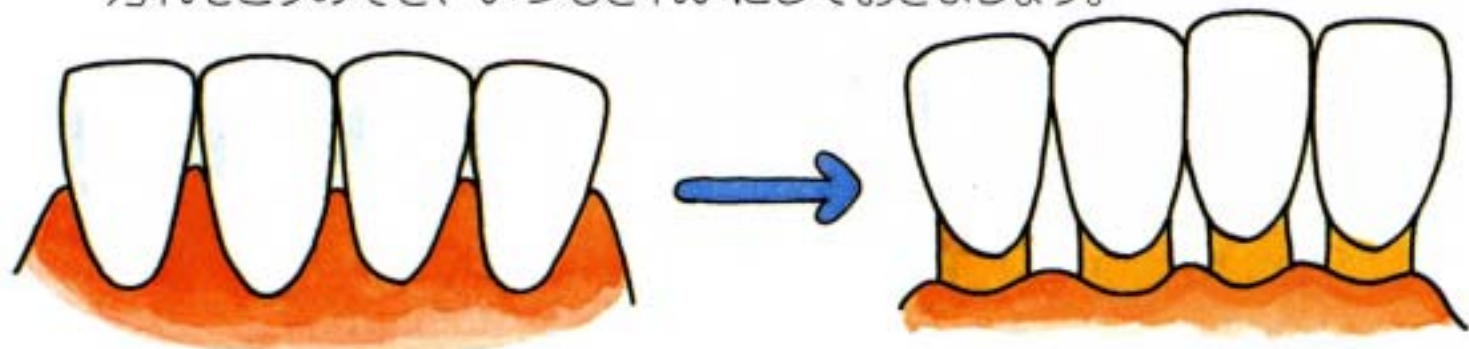


むし歯について

やっかいな歯の根のむし歯

年をとってくると歯と歯の間の歯ぐきが縮み、すき間が空いてきます。この部分は、歯の汚れがのこりやすく、むし歯になりやすいところです。もしむし歯になってしまうと、歯髄（歯の神経）までの距離が短いのですぐ進行してしまいます。歯ブラシや歯間ブラシ（P6 参照）を使って汚れをとりのぞき、いつもきれいにしておきましょう。



C1 自覚症状はほとんどなし



● 表面のエナメル質が侵され、ざらついたり、シミや黒い小さな点ができたりするが痛みはない。この段階で治療するのがいちばん。

C2 水や湯がしみる



● エナメル質について象牙質が侵され、目に見えるような穴があいてしまいます。食べ物をかみしめたとき、一時的に痛むことも。

C3 激しく痛む



● さらに進行し、歯の神経といわれる歯髄に達して、感染のため歯髄炎や歯根膜炎が起こります。持続的な痛みを伴うようになります。

C4 根だけの状態



● 歯冠部が崩れさり歯根だけが残った状態。きわめて重症。周囲の組織に波及する危険があります。痛みを乗り越えて自覚症状なし。